



大北小だより

<http://www.ooizumi-n-e.nerima-kyo.ed.jp>

1月号

平成27年 1月 8日
練馬区立大泉北小学校
校長 小島 英樹

新しい年、志を新たに

校長 小島 英樹

“己を忘れ、他を利するは、慈悲の極みなり”

比叡山延暦寺を開いた最澄の言葉です。しかし現実の世界は、昨日までつつましく暮らしていた庶民が、突然、命を奪われ、家を失い、憎しみが憎しみを生む理不尽な争いに翻弄されています。人種や、国家や、政治体制や、宗教が異なっても、一人の人間として小さな幸せを願う思いは同じはずなのに。

そこには、「自分だけが正しい。」と奢り、異なる考えを否定し、自分の主張を力づくで押し付けようとする傲慢さがあります。互いの違いを認め合い、尊重し合い、自分から一歩引くことのできる謙虚さと寛容の心をもつことは、ますます多様化するこれからの社会に、最も大切な態度であると考えます。

一方、かつては考えられなかったような青少年のさまざまな問題行動や精神的不安定さ、非行や犯罪行為等も報じられています。その背景には、ほぼ例外なく携帯電話やスマートフォンやSNS等が介在しています。生活に必要なものが十分に行き渡った現代社会において、さらなる企業収益を上げようとするれば、青少年をターゲットにするのが近道です。だから、あの手この手で子供の関心を引くと同時に、子供の安全を心配する親心につけこんで『持たせれば安心』と思い込ませて売り込む巧みな企業戦略により、本来、持たせてはならない青少年に、あっという間に普及してしまいました。

親に知られることなく、いつでも自分の都合で、気ままに発信できる便利な“麻薬”は、子供を知らぬ間に自己中心的なエゴイストに変えてしまいます。その結果、場にふさわしい言葉遣いや気配りなどの社会性や、相手の表情を見て感情を読み取る知恵が育たず、ささいなことに傷つき、傷つけ、すぐに感情的になり、良好な人間関係を結ぶことのできない青少年が急増したのです。

また昨年、パリでC P 2 1が開かれ、地球温暖化防止に向けた新たな排出ガス規制の枠組みが示されました。しかし、18年前の京都議定書で締結された排出ガス削減の目標値を達成していれば、地球温暖化はもっと早く抑えられていたはずですが。私は、5年前の東日本大震災発生後の計画停電により街中のネオンや照明が消えた“暗い夜”を見て、いかに現代生活が過剰な豊かさと快適さを求めてきたのかを実感し、以来、自宅の電気使用量を50か月連続で前年同期の使用量を下回る生活を続けています。

新しい年を迎え、真に守るべきものは何かを今一度見据え、未来の日本を担う子供たちに、謙虚な心と寛容な態度を育てていきたいと思えます。

“己を忘れ、他を利するは、慈悲の極みなり”の言葉をかみしめながら。

学芸会を終えて

1年『えんそくにいくんだ』

2組担任 加茂 洋和

初めての学芸会。ドキドキとワクワクが入り交じる中、元気いっぱい演じることができました。練習では、場面ごとに分かれて、何度も台詞の声出しをしたり、立ち位置を確認したりしました。台詞や演技を気に入った子が多く、学芸会が終わった今も教室では「えんそくにいくんだ」の台詞がよく聞こえてきます。

この学芸会での経験を生かして、これからも様々なことにチャレンジしていきます。

2年『はだかの王さま』

1組担任 城戸 律雄

2年生にとっては、小学校に入って初めての学芸会でした。子供たちは、台本をよく読んで、自分がどの役に立候補しようかと、色々考えていました。第一希望の役になった子も、そうではなかった子も、練習を積み重ねるにつれてだんだん自分の役が好きになっていきました。広い体育館の中でも、みんなに自分の台詞を聞いてもらったり、踊りを見てもらったりしようと一生懸命に練習しました。

3年『かいじゅうのバラード』

2組担任 山川 美帆

学芸会が終わった後にも、子供たちの心にいつまでも残るキャッチフレーズをと思い、ゼ口から台本を書きました。そのキャッチフレーズが、「やってみなくちゃはじまらない。」でした。前向きに何でも挑戦する主人公の姿は、まさに3年生の子供たちそのものでした。台詞だけではなく、動作や表情まで、友達と何度も話し合いながら練習しました。子供たちが進んで頑張れたからこそ、本番で達成感を味わうことができました。

これからも、3年生は、たくさんの方にチャレンジしていきます。

4年『魔界とぼくらの愛戦争』

3組担任 伊藤 裕樹

4年生総勢118名による劇からは、どのようなメッセージを受け取られたでしょうか。子供たちは劇を通して、今の環境問題を身近に感じ、自分たちの生活と結びつけられているようでした。台本を渡したときからとても意欲的に取り組む様子が見られ、台本を丸ごと全部覚えてしまう子が何人もいました。それぞれの役をどのように演じればいいのか、そして言葉を観客に届けるにはどうすればいいのか、上手に演じる友達のいいところを真似しながら、全体が1つにまとまっていくことができました。

5年『RATS』

1組担任 吉田 啓伸

「また動物～！？」“RATS”をやることを知った子供たちの最初の感想でした。ライオン、カメレオンに続き、またしても人間ができないのか・・・でも、練習を重ねるうちにネズミになりきり、演じることの楽しさを感じ取った子供たちの感想は、「この劇ができてよかった」というものになりました。

自分たちで見合い、高め合い、よりよいものができるようにと努力したことは、大切な宝物となったはずです。クラスも男女の区別もなく学年で一つとなりました。最高学年に向けて一歩近付いた、そんな機会になったと思います。

衣装の準備等、ご協力ありがとうございました。

6年『人間になりたがった猫』

2組担任 谷内 あい

「先生、こうした方がいいと思います。」「これを作りたいです。」「この時スポットはこの場所に当てた方がいいですね。」ほとんどすべてを自分たちで作り上げた最後の学芸会。

6年生という時期もあって、なかなか思い切れない部分もありましたし、大きなプレッシャーもありました。しかしその中で一人一人がベストを尽くし、精いっぱい演技や歌で表現することができました。

劇はもちろんのこと、準備や片付けまで一生懸命取り組む姿はとても立派でした。人間のすばらしさを劇を通して見せるだけでなく、6年生の、最高学年のすばらしさを行動で魅せてくれた最高の学芸会となりました。

1月行事予定表

今月の生活目標:学習の用意をきちんとして(忘れ物をしない) みんなで使う物を大切にしよう 進んであいさつしよう

日	月	火	水	木	金	土
3	4	5	6	7 冬季休業日終	8 登校日 全校朝会 4時間授業 安全指導	9 土曜授業公開 (月曜時間割) 防災授業5年 すっきり生活始
10	11 成人の日	12 給食始 計測6年 マラソンタイム始	13 避難訓練(火災)	14 どんど焼き集会 (けやき班遊び)	15 B時程 計測5年 すっきり生活終	16 連合図工展始 (練馬区立美術館)
17	18 全校朝会 計測4年 委員会 校内書初展始	19 計測3年	20 給食委員会集会 計測2年	21 計測1年 連合図工展終 5年社会科見学	22 PTA講演会	23 連合書初展始 (練馬区立美術館)
24 連合書初展	25 全校朝会 クラブ	26 マラソンタイム終	27 広報委員会 マラソン大会 (6, 2, 4年)	28 マラソン大会 (5, 1, 3年)	29 新1年保護者会 校内書初展終	30

「どんど焼き集会」

特活主任 伊藤裕樹

1月14日(木)1時間目に「どんど焼き集会」を校庭で行います。「日本古来の伝統行事であるどんど焼きを体験すること」「異年齢集団での交流を深めること」をねらいとしています。

代表委員が司会をし、どんど焼きについての話します。また、和太鼓クラブの演奏もあります。校庭の中心に作られたどんど焼きの炎を囲んで、けやき班での遊びも計画されています。

「続けるために」

副校長 大野 正人

2学期後期が始まりました。新年ということで、ご家庭でお子様が今年の目標を立てたことと思います。また、その際に目標の達成に向けて励ましの言葉をかけてくださったことと思います。

1週間が過ぎ、学校が始まるといかがでしょうか。目標に向けた努力は続いているでしょうか。続いていければいいのですが、そうでない時は、次のようにしてみてもいかがでしょうか。行う努力を分かりやすくする(1日漢字を1ページ、30分机に向かって集中するなど)、無理な目標なら続けられる程度に少し下げる、努力が見えるようにする(ノートの活用やシールを貼るなど)、毎日努力を見てあげて認め励ますなどです。早目に修正して、子供の自分から進んで行おうとする力を高め、続けていけるようにしたいと願って書きました。賢明なる保護者の皆様方には、釈迦に説法で失礼しました。